

【病院の新しい事務体制について】



病院長 森田 陸司

Director of the SUMS Hospital Rikushi Morita

平成16年4月の法人化より1年余りが経ちました。病院の事務組織は再編成されて色々変わりましたが、患者様から見た限りでは、目立った変化は認められないかも知れません。

病院の表玄関を入ると先ず、右手に広く総合受付などが目に入ります。従来、「医事課」がこれらの業務を担当してきましたが、病院事務組織の機能を高め、効率化を図るために、分散していた病院関係の事務業務を一元化し、更に、病院事務組織を「医療サービス課」と「病院管理課」の2課に増やしました。

「医療サービス課」は、従来の医事課の診療事務のほとんどを引き継ぎ、外来、入院、収納（支払窓口）、患者相談、地域連携などを担当します。

「病院管理課」は、いわば裏方で、病院総務、経営企画、物品調達、請負契約、医事法規、安全管理、研修、臨床治験、医療情報などを担当します。

そして、この2つの課を、病院長と「経営・管理担当」の副病院長が統括します。病棟関係では、各病棟に新たに保険診療事務に精通し、かつ、病棟事務を担当する「病棟クラーク」と、病棟での補助業務を担う「看護助手（メディカル・アシスタント）」の配置にお気づきの方もあるかも知れません。この方々の担当は、病棟クラークについては「医療サービス課」、看護助手については「看護部」になります。

その他、病院長支援体制としては、専任の「経営・管理担当」、併任の「総括・リスクマネジメント担当」、「研修担当」、「患者サービス担当」と「業務改善担当」の5名の副病院長の他、「診療体制担当」の病院長補佐が当たります。

病院全職員は、この新しい病院管理体制で、病院の理念である「信頼と満足を追求する全人的医療」の実践に努める所存です。

よろしくお願いたします。



新副病院長の紹介



総括・リスクマネジメント担当

松末 吉隆（整形外科 科長）

平成17年4月1日から附属病院の総括・リスクマネジメント担当の副病院長に就任いたしました。専門は整形外科ですが、大学の国立大学法人化、包括医療システムの導入、新卒後臨床研修システムの開始、経営努力の推進など変革する医療情勢の中で、最も大切な医療安全のための種々の事項を確実に遂行していきたいと考えています。さらに、医療の質を高めるための医療監視の実行も念頭に入れて、患者さまから真に信頼されて地域から高く評価される病院となるよう微力ながら努力させていただきますので、どうかよろしくお願い申し上げます。



研修担当

藤山 佳秀（消化器・血液内科 科長）

平成17年4月1日から附属病院の研修担当副病院長に就任いたしました。附属病院医療研修部では、さまざまな医療研修を通じて病院全体の医療の質の弛まざる向上を目指し、また、接遇研修などを実施して、職員一丸となって皆様に心から満足していただける病院の姿を常に追い求める活動を行ってきています。一方で、附属病院は次代を担う医療人の育成も使命としています。皆様のご理解とご協力、そして忌憚のない貴重なご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。



経営・管理担当

綿貫 祝生

着任以来、滋賀医大病院の理念である「信頼と満足を追及する全人的医療」の気質をこの3ヶ月で実感しております。

これまで再建病院を数々担当した経験をもとに、大学が法人化することで改革をすべきことが多々あると考えております。

今後は医療サービスの向上とともに地域医療への貢献はもとより、大学病院機能の整備充実に努めてまいりますので、皆様方のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



患者サービス担当

井下 照代（看護部長）

私は副病院長兼看護部長として、本年4月より患者サービスを担当しております。病院職員の約50%を占める看護師は患者さまに一番近い存在であり、多くの時間を患者さまのケアに費やし、あらゆる場面に関わっております。現在抱えている課題は、待ち時間の短縮や予約診療システム改善、アメニティの充実などですが、看護師としての視点を生かし、できることから少しずつ改善し、ご利用いただく方々にご満足いただけるように努力してまいります。



業務改善担当

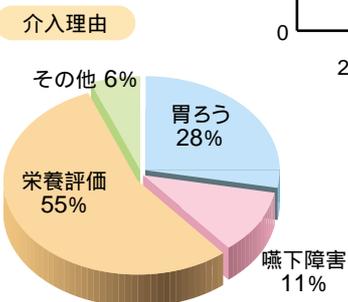
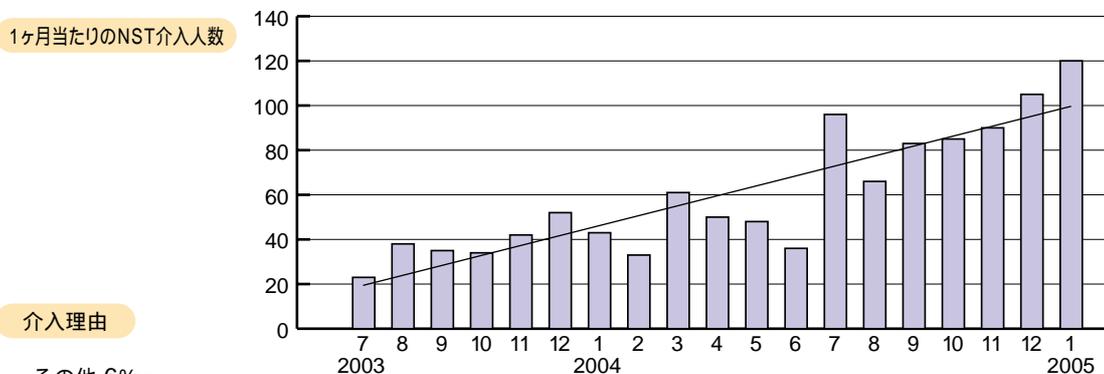
増田 一孝（放射線部 診療放射線技師長）

この度、業務改善担当の副病院長を拝命しました放射線部の増田です。当大学病院の理念であります「信頼と満足を追求する全人的医療」の実現のため、中央診療部の機能の向上、地域医療に貢献できるコ・メディカルスタッフの育成等について、病院長の命を受け努力させていただきます。皆様のご意見ご指導をよろしくお願い申し上げます。

NST活動と 日本静脈経腸栄養学会Awardを受賞して

栄養管理室 栗原 美香

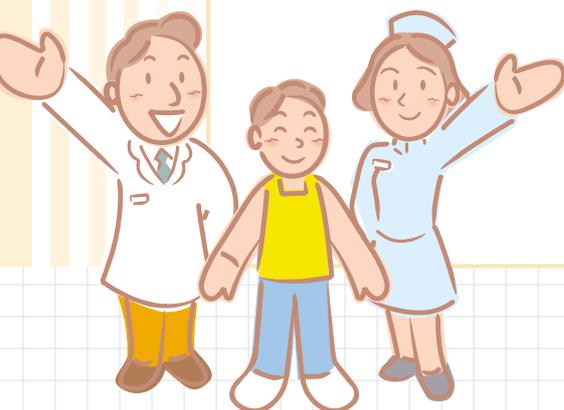
当院で、NSTが稼働開始して早2年になります。NSTとは、Nutrition Support Team(栄養サポートチーム)の頭文字をとったもので、治療の土台である栄養をチーム医療(医師・薬剤師・看護師・理学療法士・事務・栄養士)でサポートするために作られたものです。欧米ではすでに栄養介入が積極的に取り組まれていましたが、日本においては従来、点滴(中心静脈栄養)が多用されてきたことによるカテーテル敗血症や、腸を使わないことから免疫能が低下して感染症などを起こすケースも多くみられてきました。当院のNSTは県下で最も早く立ち上がり、適切な栄養管理を提供するためにチーム医療で取り組んでいます。今回、受賞した内容は、その一環で、様々な病態によるエネルギー代謝の変化を、客観的に間接熱量計を用いてまとめた論文です。このような機会を得られ、とても励みになり、今後とも栄養チームを通じて、患者様もスタッフも「幸せの共有」ができれば願っています。



参考

「第5回 味の素ファルマAward」

「味の素ファルマAward」は、日本静脈経腸栄養学会と味の素ファルマ株式会社がコ・メディカルの方々の栄養に関する研究を支援する目的で、2001年に設立されました。毎年、厳選なる選考の結果、現在までに9名のコ・メディカル(栄養士3名、看護師2名、薬剤師4名)の方々が受賞され、日本静脈経腸栄養学会において受賞講演ならびに表彰式が行われました。



患者様にかかる“個人情報”について

当病院では取得した患者様の貴重な個人情報を含む記録を、医療機関としてだけでなく教育・研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 患者様の個人情報は、各種法令に基づいた院内規定を守ったうえで下記の目的に利用されます。

(1) 当病院での利用

患者様がお受けになる医療サービス(お名前による呼び出しを含みます)

医療保険事務

患者様に係る管理運営業務(入退院等の病棟管理、

会計・経理、医療事故の報告、医療サービスの向上)

医療サービスや業務の維持・改善のための基礎資料

(2) 当病院および滋賀医科大学での利用

医学系教育

症例に基づく研究

外部監査機関への情報提供

(3) 他の事業者等への情報提供

他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との

医療サービス等に関する連携

他の医療機関等からの医療サービス等に関する照会への回答

患者様の診療等にあたり外部の医師等の意見・助言を求める場合

検体検査業務の委託その他の業務委託

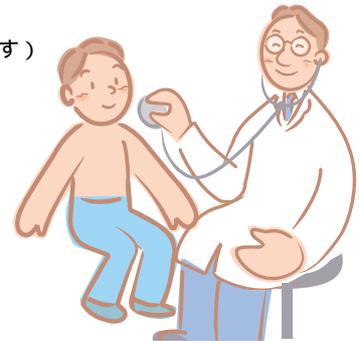
患者様の家族等への病状説明

医療保険事務(保険事務の委託、審査支払機関へのレセプトの提出)

審査支払機関又は保険者からの照会への回答

関係法令等に基づく行政機関及び司法機関等への提出等

医師賠償責任保険などに係る医療に関する専門の団体、保険会社等への相談又は届出等上記利用目的の中で疑問がある場合は、お申し出ください。



2 上記利用目的以外に患者様の個人情報を利用する場合は、書面により患者様の同意をいただくことといたします。

3 当病院での患者様の個人情報の取扱い等に関する詳細、不明な点等がありましたら医療サービス課患者サービス係(077 548 2504)までご連絡ください。

クレジットカードでのお支払い

お使いいただけるクレジットカード



VISAカード マスターカード JCBカード アメックスカード

お使いいただける場所と時間

総合受付 [6] 料金支払窓口 平日 8:30 ~ 17:15
時間外受付窓口 平日 17:15 ~ 翌 8:30
(土・日・祝祭日は終日お使いいただけません。)

平成17年4月5日より診療費のお支払いにクレジットカードが使用できるようになりました。詳細は以下のとおりです。

お取扱い上のご注意

1回払いのみの取り扱いとなります。

ご利用限度額をご確認のうえ、ご利用ください。

(限度額の詳細については、各カード会社にお問い合わせください。)

詳しくは下記にお問い合わせください。

医療サービス課収納係 TEL.077-548-2510

(月曜日～金曜日 8:30～17:15、但し年末年始および祝祭日を除く。)

病院ボランティア募集!

図書ボランティア
外来ボランティア

連絡先

滋賀医科大学病院管理課

ボランティア担当

TEL:077-548-2464

e-mail:

hqji@belle.shiga-med.ac.jp

滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する全人的医療」

理念を実現するための基本方針

患者さま本位の医療を実践します
信頼・安心・満足を与える病院を目指します
あたたかい心で最先端の医療を提供します
地域に密着した大学病院を目指します
世界に通用する医療人を育成します
健全な病院経営を目指します

滋賀医大病院ニュース第7号

編集・発行: 滋賀医科大学広報委員会

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

TEL: 077(548)2012(企画調整室)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。